

平成 26 年 4 月 14 日

4 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、雪害により林道は倒木で不通箇所多く、生産に支障。被害木処理で入荷が減少し、先行き原木供給への影響が懸念。荷動きは、製材工場の在庫確保により、一時弱まった引合いが回復に転じている。スギは柱材の引合いは回復。中目材は順調な引合い続く。ヒノキは引合いが幾分回復したものの、柱材は依然低調。価格は全般に値下がりから小反発に転じその後横這い。スギは柱材・中目材とも保合で高止まり。ヒノキは柱材が前年を下回る水準まで値下げ、中目材は弱保合。2月に発生した栃木県の雪害被害は12市町村で1,500ha、被害額は約23億円と甚大。

群馬の製材工場はほぼフル操業。原木の入荷・在庫とも特に問題なし。製品受注は、4月初めは若干少なかったが、ここにきて今月分はほぼ満杯。製品在庫は少な目。製品価格はヒノキ土台は急落、スギ柱は弱含み。スギ原木はほぼ潤沢に出ているが、価格は弱含み。

2. 米材

日本向け米国産米マツ丸太は、日本からの引合いが減ったことにより、\$20/千スクリブナー（約\$4/m³）値下がり。出材は好調。カナダ丸太は好調な住宅着工による木材需要が旺盛な米国向けの生産が伸び、原木価格は高止まり。産地の天候は良く伐採は順調。日本向け、中国向け配船は一服感出ているが、港頭在庫は増えていない。ウェアハウザー社の4月積み米マツ IS ソートは、前月比較\$20下げの推定\$890。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這。国内の米材製材工場は、港湾部大型工場、内陸部中小工場ともに、販売は需要に一服感出しておりスローダウン。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 3月入荷量は34.8千m³で36.2%増、出荷量は28.3千m³で同8.4%減、在庫量は58.6千m³で同12.6%増。産地情勢は、BC州バンクーバーでトラックドライバーのストが2/26から3/27まで続いた。港湾に溜まったコンテナを整理するまでに2週間程度かかるので、日本への入荷は5月上旬以降。産地価格は対日の第3四半期 DF KD STD J グレード角\$500-510/m³、垂木\$520/m³ (CIF) レベルで決着。SPFJ グレードは第2四半期\$575/Mfbm (CIF) 前後で第1四半期のスポット価格とほぼ同じ。2月に引続き3月の荷動きは鈍かった。年度末の投売を待つ影響も出た模様。トラッ

クストライキの影響で、4月の入荷は絞られる見込み。5月以降にどれだけの数量が入荷するかが市況の分かれ目。

3. 南洋材

サバは、山元の天候が不順で原木出材が不安定な中、インド・中国・日本向け原木輸出が好調を維持し、合板工場向けも堅調なため原木価格は一層強含む。地元製材工場向け原木も低質材が多く、日本向け製材は減少。サラワクも天候不順で原木出材が安定せず、インド等のバイヤーは玉の確保を優先し、原木価格は強含む、製材工場の原木在庫も少ない。PNG・ソロモンは原木出材が低調で、玉が確保できず滞船の問題が起きている。南洋材丸太の入・出荷、在庫とも横這。製材品の入荷は減少。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、円安と産地高のため荷動き低調で、価格は横這いから値上げ傾向が続く。

4. 北洋材

ロシア極東は、3月に入り暖かい日が続き、冬山造材のスピードが落ちている模様。中国市場ではロシア材の荷余り感が出て、価格はようやく高止りから一部弱含みのアイテムも出てくる可能性。エゾマツ、カラマツの丸太不足は継続中。シベリア地方も同様に、3月に入って伐採量は明らかに減少しているが、国内製材メーカーの買いが一服しており、大きな影響はない。富山新港の3月丸太入荷量は12千 m^3 （エゾマツ1千 m^3 、カラマツ1千 m^3 、アカマツ10千 m^3 ）、製品は7千 m^3 。価格動向は、エゾマツ、カラマツの丸太は強含む、製材品は国内挽きが横這いで、輸入アカマツ製品は弱含む。京浜港のアカマツ輸入製品の在庫は過多で、荷動き低調。国内製材工場はアカマツ丸太、原板とも依然不採算。稼動状況は採算合わず引続き生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、針葉樹合板の生産増が続き供給難状態。コスト高から価格も強気で推移。南洋材は現地IPK材の税率アップの問題が不透明ながら、コスト高は避けられそうもない。米材は強含む横ばい状態が続くが、為替次第の部分もある。2月の国内合板生産量23万 m^3 のうち、針葉樹合板は21.5万 m^3 で出荷量も22.1万 m^3 と5ヶ月連続で出荷が生産を上回る。このため在庫量は9.1万 m^3 と危機的水準まで落ち込む。販売価格は、4月は全て横這い。荷動きは一時よりおとなしくなったが、需要は底堅い。今後もこのままの状態と予測。国産針葉樹合板の品薄感、首都圏では薄らいできたが、欲しいときにすぐデリバリーできる状況ではない。アイテム（9mm、15mm等）によっては

今も逼迫感が大きい。価格は高値安定のまま推移。輸入合板の荷動きは、2月中旬以降降着いた状態が続き、価格も横這いで推移。先行き針葉樹合板の荷動きのピークは過ぎたが、メーカーの在庫量は極端に少なく、価格も安定との見方が多い。輸入合板の荷動きは落ち着いているが、港頭在庫はやや低水準でコストも高いことから暫くは綱引き状態が続く。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は引続き順調。国産集成材の受注は減少気味、販売は物件数低下で荷動きも低調。先行き販売量は低下しており、この状況は夏まで続くと予測。原料が高値安定のため製品価格は横這い。在庫は増加傾向。ラミナ価格は40,000円/m³オーバーで非常に高い状態が続く。第2四半期の価格交渉はまだ決着せず、価格は横這いか数EURダウン。輸入集成材は、物件の減少と現地価格高値安定により輸入は低迷。大手ハウスメーカーの受注減が止まらない中で、首都圏分譲ビルダーの受注は好調。職人不足が一層深刻化。

7. 市売問屋

国産材構造材はスギ、ヒノキとも前月までの喧騒がなくなり動き止まる。予想されていたが先行きが不安。造作材はリフォーム需要が依然活発で、引合い強い。スギ建具用も小動きながら勢いある。外材構造材は、国産材同様必要だけの当用買いで動き鈍い。造作材はここにきてスプルースの動きに一服感。米ヒバ、米ツガは動き良い。販売は、3月までの駆込需要の反動で、市日の買方の来場者数が減少。春需本番を迎えているが、増税を意識して買方は先月までに仕入在庫を増やし、これを消化するまでは買い控えが続くと予測。原木価格の下落は製品価格に影響し、仕入れの一服感も加わり、下げ止まりが効かない状況。

8. 小売

国産材の構造材はスギ弱保合、ヒノキ柱、土台とも弱保合。外材はロシアアカマツ垂木、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルース良材強保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹・ラワンともに強保合。床板、フロア材保合。グラスウール断熱材の納期遅れが今月も解消する見込みなく、現場作業に影響が懸念。プレカット工場は特に変化なく、加工は順調。工務店は先月までの受注残で何とか5月頃まで仕事はあるが、それ以降の受注は工務店によって大きな開きが出ると予測。

4月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↗	↗	→
	製材品	↘	→	→
北洋材	丸太	→	→	↗
南洋材	丸太	→	→	↘
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↘
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	→
			米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
			エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↘
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
			ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
			ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
			10.5×10.5×2.98m	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗